

## 【健康診断資料】

### ■（資料2）癌健診の有効性のランク

#### I-a 健診による死亡率減少効果があると、十分な根拠がある。

(複数のRCTで死亡率減少効果がおおむね一致、あるいは多数の観察研究でおおむね一致)

- 擦過細胞診による子宮頸癌健診
- 視触診とマンモグラフィの併用による乳癌健診（50歳以上）
- 便潜血検査による大腸癌健診

#### I-b 健診による死亡率減少効果があると、相応の根拠がある。

(RCTではないが、死亡率減少効果が複数の観察研究でおおむね一致)

- 胃X線検査による胃癌健診
- 視触診とマンモグラフィの併用による乳癌健診（40歳代）
- 胸部X線検査と高危険群に対する喀痰細胞診の併用による肺癌健診(日本における健診)
- 肝炎ウイルスキャリア検査による肝癌健診(肝癌罹患率の減少効果で評価)

#### I-c 健診による死亡率減少効果がないと、相応の根拠がある。

(複数の研究で死亡率減少効果の欠如が示されている、あるいは減少効果に関する報告はないが検査精度などの点で明らかに有用性に欠ける)

- H.ピロリ(*Helicobacter pylori*)抗体測定による胃癌健診
- 胸部X線検査と高危険群に対する喀痰細胞診の併用による肺癌健診(欧米における健診)
- 直腸診による前立腺癌健診
- 視触診単独による乳癌健診

#### I-d 健診による死亡率減少効果がないと、十分な根拠がある。

(複数のRCTで死亡率減少効果の欠如がおおむね一致)

- 該当健診なし

#### II群 健診による死亡率減少効果を判定する適切な根拠となる研究や報告が、現時点では見られないもの

(検査精度や生存率などを指標とする予備的な研究で効果の可能性が示され、死亡率減少効果に関する研究が計画または進められているものを含む)

- 血清ペプシノゲン検査による胃癌健診
- ヒトパピローマウイルス感染検査による子宮頸癌健診
- 細胞診による子宮体癌健診
- 超音波断層法(経膈法)による子宮体癌健診
- 超音波断層法単独による卵巣癌健診
- 超音波断層法と腫瘍マーカーの併用による卵巣癌健診
- 視触診と超音波検査による乳癌健診
- らせんCTと高危険群に対する喀痰細胞診の併用による肺癌健診
- 超音波検査による肝癌健診
- 前立腺特異抗原(PSA)測定による前立腺癌健診

#### ●表 癌健診の有効性のランク

厚生労働省のがん健診の適正化に関する調査研究事業「新たながん健診手法の有効性の評価」報告書(日本公衆衛生協会)